■グリーン④　グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発（次世代蓄電池材料）

【平成25年度概算要求額：3.3億円（新規）】

○ 全国で展開される各プロジェクトが共通の目標に向け、所管省庁や資金拠出機関の枠を超えて連携して研究開発を推進。
○ 一体となった取組を実現するため、各代表者、関係機関からなるガバニング・ボードが全体をマネジメント。
○ 要素技術の開発のみならず、日本のものづくりの復権に向けて将来展望を行うチームを編成し、方針を各研究にフィードバック。

ガバニング・ボード　○文科省・経産省新規プロジェクトリーダー　○RISING　代表研究者　○ALCA　プログラムディレクター、プログラムオフィサー
○CREST・さきがけ　プログラムディレクター、プログラムオフィサー　○企業（自動車・材料メーカー等）　○文科省、経産省、JST、NEDO

システム研究・戦略検討（文科省・経産省連携）

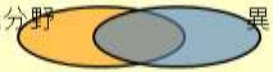
・経営学の手法も含めた学際的体制を構築。革新的蓄電池を単なるデバイスを超えた、新たな産業・価値創造のレベルに。
・革新的蓄電池による未来社会を展望するとともに、我が国のビジネスの在り方を検討。

フィードバック

基礎

次世代蓄電池研究加速プロジェクト(文科省)

蓄電池研究に物性物理等の異分野を融合させた新たな蓄電池の基盤研究を実施。各プロジェクトの成果を集約し、次世代蓄電池の実現に向けて研究を加速。



チーム一体となって協働し研究を加速

集約・加速

RISING等の既存プロジェクト

成果の提供・橋渡し

評価結果のフィードバック

応用

次世代蓄電池試作・評価等（経産省）

試作・評価

各プロジェクトからの依頼を受け、実施可能なところから、次世代蓄電池の試作・評価等を実施。

材料評価依頼
評価結果のフィードバック

次世代蓄電池の実用化

加速プロジェクトのチームへ参加
既存事業から卒業

新たな知見の取り入れ
原理の深掘り

ALCA（文科）　**CREST・さきがけ（文科）**　**蓄電池材料研究（NIMS等）**

各研究者の自由な発想に基づく個別の基礎・基盤的研究を公募等により実施。